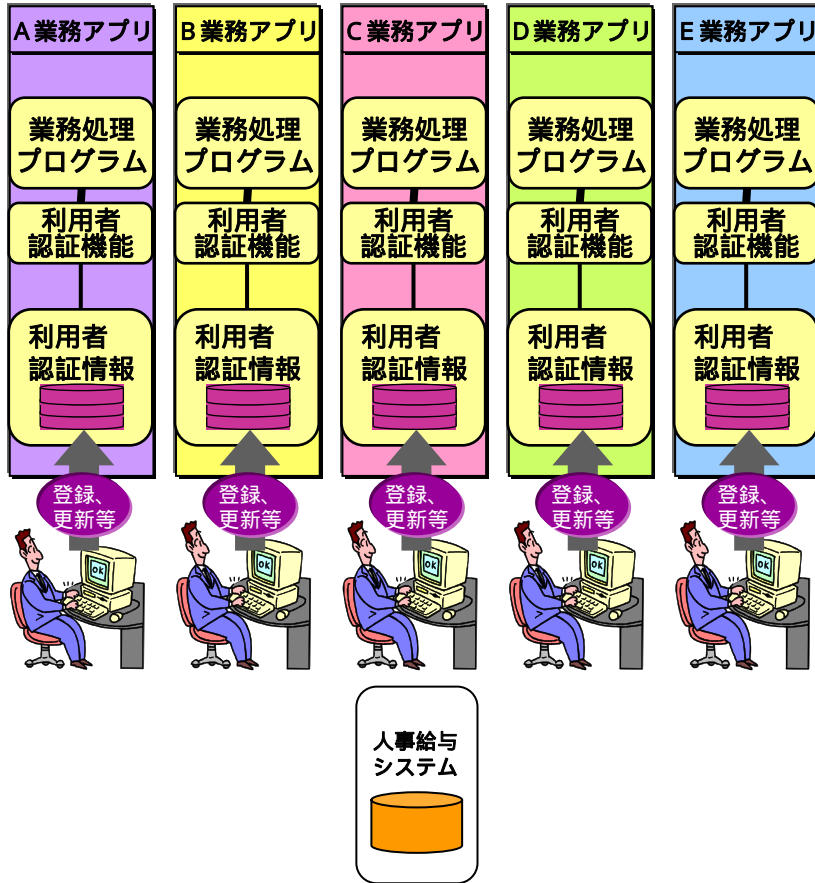


職員等利用者認証業務の業務・システム見直し方針の概要

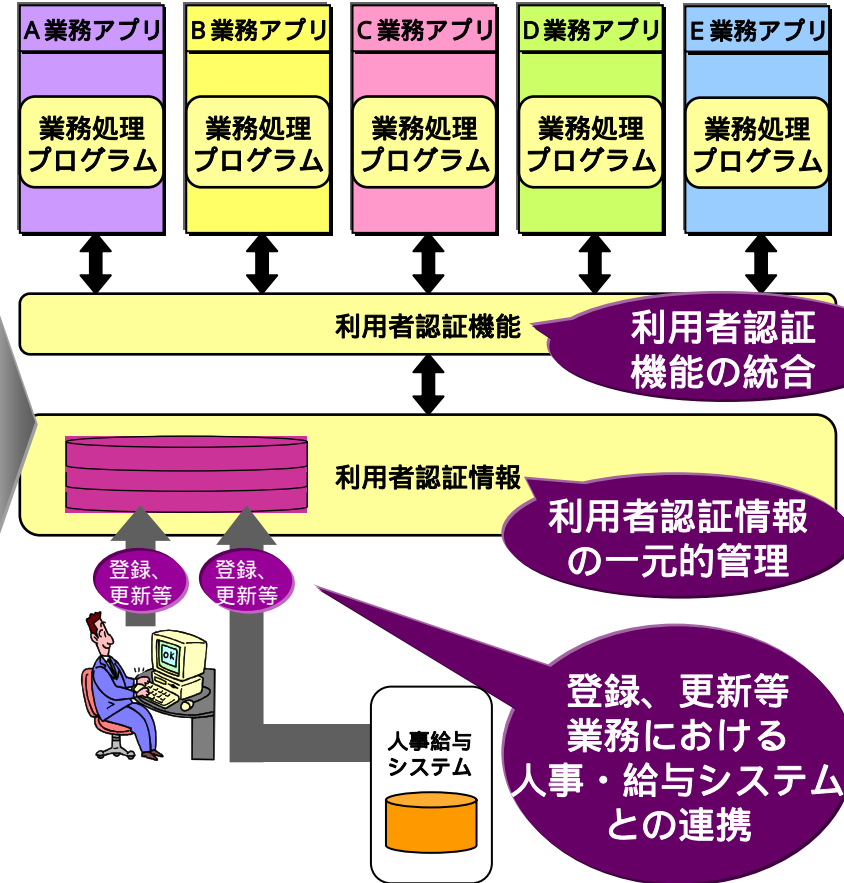
対象範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者認証情報（ID・パスワードなど）の登録、更新等を行う業務及びこれに付随する業務 ・ 上記業務の処理に必要なシステム及び利用者認証を行うシステム（利用者認証情報に基づき利用者の本人性の確認等を行うシステム）
基本理念	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務上正当な権限のない者のアクセスの防止により、安全性・信頼性向上を図り守るべき情報資産を保護 ・ 利用者認証に係る業務プロセス見直しによる業務の効率化 ・ 利用者認証に係るシステムの統合化・集中化による経費削減 ・ 職員等利用者における利用者認証手続の負荷軽減による利便性向上
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者認証情報の登録、更新等業務における人事情報のやり取りが非効率 ・ 利用者認証情報の登録、更新等業務を業務アプリケーションごとに重複して実施 ・ 利用者認証情報の登録、更新等の処理機能を業務アプリケーションごとに重複して保有 ・ 適時適切な利用者認証情報の登録、更新等業務の効率的な実施が必要 ・ 複数のID・パスワード等を保有している職員等においてはその厳格な管理の徹底が困難 ・ 職員等個人単位でのアクセスの証跡管理が容易ではない
見直し方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>業務・システムの効率化</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ ID・パスワード等利用者認証情報を一元的に管理するための「府省内職員等利用者認証基盤」を整備 ・ 人事・給与システムと連携して利用者認証情報の管理を厳格かつ効率的に実施 ・ 業務アプリケーションごとに保有している利用者認証機能を更新時期や費用対効果等を踏まえて統合化 ・ 府省共通業務アプリケーションにおける利用者認証を効率的に実現するための機能を整備 ・ 「府省内職員等利用者認証基盤」の整備に当たっては、既存のシステム資源等の活用を検討 2 <u>業務・システムの安全性・信頼性向上</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準」等に沿って情報セキュリティを確保 ・ 「府省内職員等利用者認証基盤」の活用による、利用者認証情報の管理の徹底と職員等個人単位でのアクセス証跡管理の効率的な実施 ・ 国家公務員ICカード、電子証明書など複数の認証方式への対応について検討 3 <u>職員等利用者における利便性向上</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府省内シングルサインオンを必要に応じて実現 ・ 府省共通業務アプリケーションについてのシングルサインオンの実現を業務要件を踏まえて検討 シングルサインオンとは、一つの業務アプリケーションでID・パスワードの入力を一度行えば、他の業務アプリケーションの利用時に再度当該手続を行わなくとも利用可能となる仕組みのこと

職員等利用者認証業務の業務・システム見直しに係る 業務アプリケーションの最適化イメージ

現 行

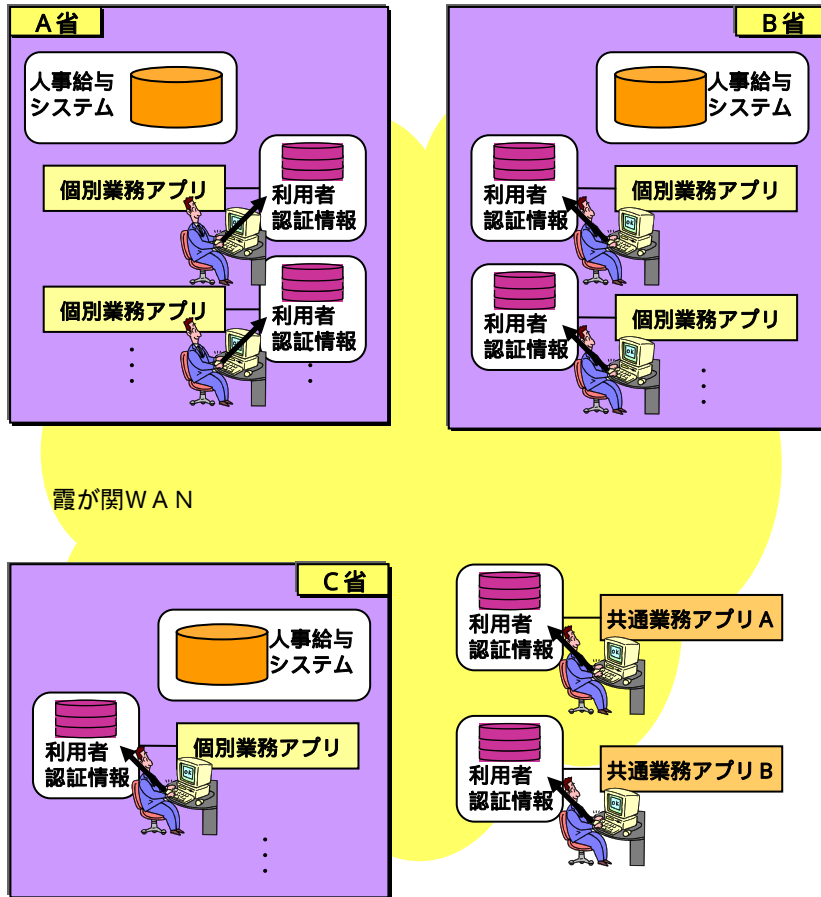


将 来

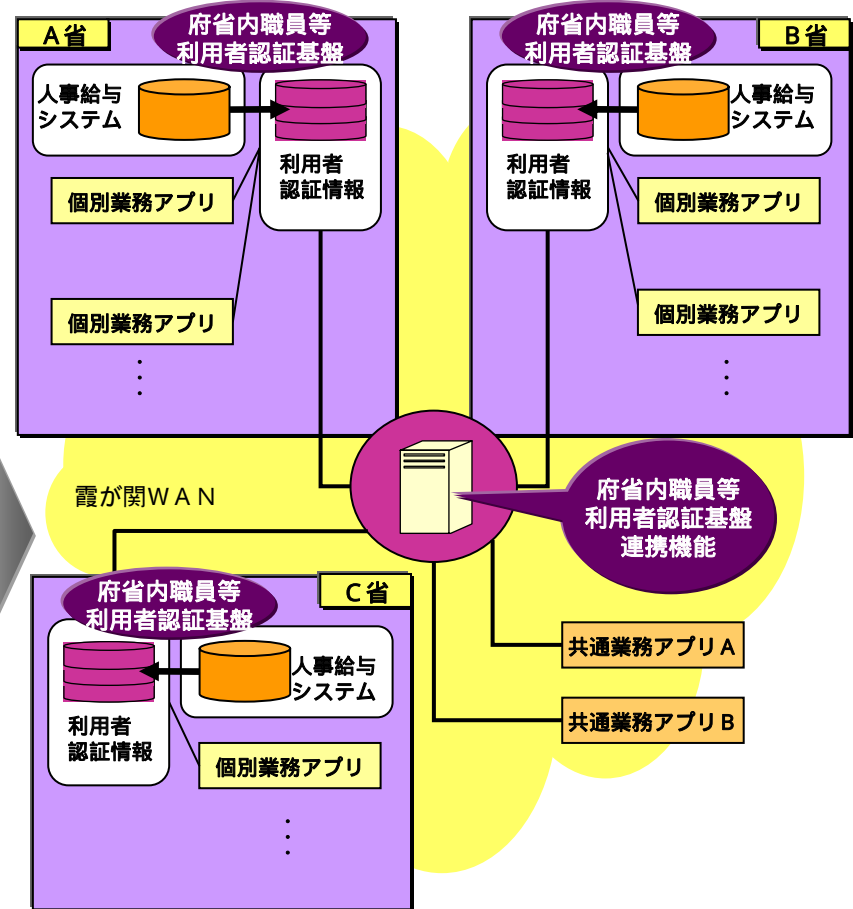


職員等利用者認証業務の業務・システム見直しの全体概念イメージ

現 行



将 来



人事・給与システムとは連携しておらず、利用者認証情報は業務アプリごとに個別に管理

人事・給与システムと連携し、利用者認証情報を一元的に管理
複数府省の職員等が利用する共通業務アプリの利用者認証は、各府省の利用者認証基盤を連携させることにより実現